

平成31年度 | 学期始業式の話

今日からいよいよ平成31年・令和元年度のスタートです。

1年生は2年生へ 2年生は3年生へ そしてここにいる皆さんが一つ上の学年に進級し、新しいスタートを切りました。

*この年号の変わる記念すべき年度に、皆さんはどんな目標を持ちましたか？

「勉強」「授業」「陸上」「児童会」など

校長先生は、この大森小学校の子供たちには、「元気」「本気」「笑顔いっぱい」の大森っ子になってほしいと願っています。

では、「元気な子ども」とは、どんな子どもをいうのでしょうか。

○ 皆さんの頭の中に、元気な子どもの姿が映っていますか？

「いっぱい遊ぶ」「友だちと関わる」「あいさつ」

元気な子どもの姿を考えた時、まず校長先生は様々ある元気な姿の中で、「あいさつ」がしっかりできる子どもということを考えました。

あいさつは、人と人との「心をつなぐ」大切な方法です。

ぜひ、大森小学校の子どもたちは「元気があっていいね」と、地域の方々や家の人たちがからも言ってもらえるよう、ここにいるみんなが「元気なあいさつ」を意識していきましょう。

次に「本気な子ども」は、どんな子どもをいうのでしょうか。

*勉強に一生懸命に取り組む自分を考えましたか？

*運動に一生懸命挑戦する自分を考えましたか？

*野球やサッカー、バスケットボールのスポ少や、習字・英語などの習い事に頑張っている自分を考えましたか？

「本気」とは「目の前のことに夢中で取り組むこと」です。

これから始まる1学期、皆さん一人一人「しっかりした目標を持って」本気でがんばる姿を楽しみにしています。

そして、最後は「笑顔いっぱい」です。

皆さんはどんなときに笑顔いっぱいになれるのでしょうか。

- 周りの人から優しくされたら、皆さんはうれしくて笑顔になりませんか。→ だったら周りの人にも自分からいっぱい優しくしてあげてください。

- 「友達から一緒に遊ぼう」と声を掛けてもらったらうれしくて笑顔になりませんか。→ だったら、あなたの周りで一人でぼつんとしているお友達がいたら「一緒に遊ぼう」と声を掛けてあげてください。

- 自分が困っている時、助けてもらったらうれしくて笑顔になりませんか。→ だったら、周りに困っている人がいたら助けてあげてください。

つまり、笑顔いっぱいにするには、「一人一人が、自分がしてもらってうれしいことを、周りの人にもしてあげること」が大切なのです。

大森小学校は、山形県内でもトップクラスの学習環境が整った学校です。その恵まれた環境をどのように使って成長していくのかは、一人ひとりの気持ち次第です。

ぜひ、この一学期、全校生727名一人ひとりが、しっかりした目標を持って、「元気・本気・笑顔いっぱい」の子どもになれるように、努力していきましょう。

以上、皆さんの活躍を期待しながら、1学期始業式でのお話を終わります。